

1月27日

冬のひめかゆを遊び尽くす

イベント



ひめかゆスキー場でスノーフェスティバルが開催されました。モーターレインの体験やチューブソリレースなどが行われ、多くの家族連れなどでにぎわいました。親子そり大会では、宮城県栗原市の岩国恵子さん（49）とあゆらさん（小6）が見事優勝。「思ったよりスリルがあって楽しかった」と笑顔で語りました。

1月30・31日

4市が誇る最高の技が集結

イベント



本市、秋田県仙北市、静岡県掛川市、岐阜県多治見市で構成する茶文化プロジェクト4市連絡会は、茶文化の発展などを目的に東京シティアイで物産展を開催しました。本市在住の料理研究家及川喜久子さんは、南部鉄器を用いたほうじ茶作りを披露。樺細工や美濃焼などお茶に関する逸品を楽しむ人でにぎわいました。

2月2日

自慢のおやつが大集合

イベント



「奥州 食の黄金文化祭 2019 ～おやつフェスティバル～」がプラザイン水沢で開かれました。5回目となる今回は、地元食材を使用したこだわりのおやつを販売する菓子店などが29店舗と、軽食コーナーに5店舗が出店。会場は甘い香りが立ち込め、お目当てのおやつを求めて行列ができていました。

2月10日

五穀豊穡などを願って、獅子舞が門付け

イベント



市無形民俗文化財に指定されている黒田助獅子舞の門付け行事が水沢羽田町黒田助行政区で行われました。黒田助獅子舞保存会（菊池勝秋会長）の会員ら24人が約50戸を巡り、悪魔となった獅子が家に入ろうとするのを太刀取りが追い払う舞を披露。防火を願って獅子が水をまき、家人の頭をかんで無病息災を祈りました。

2月16日

スターシェフ目指して高校生が腕振るう

イベント



市産食材のPRや若きシェフの育成などを目的に開催している「食の黄金文化・奥州料理コンクール」の最終審査が水沢第一高校で行われました。書類審査を通過した県内外の高校生10人が出場。同校2年の菅原悠希さんの「心温まるすいとんあんかけ、がんづきバーガー」はプラザイン水沢賞を受賞しました。

2月17日

熱い戦いで寒さを吹き飛ばせ

イベント

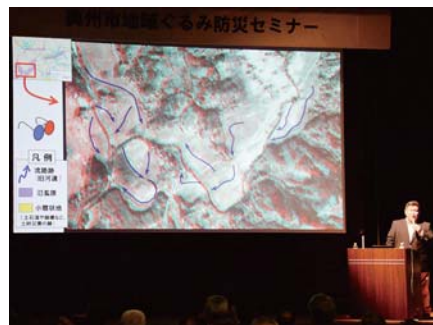


市民体育祭綱引競技（市など主催）が江刺西体育館で開催されました。同大会は、冬場のスポーツ行事として毎年開催され、今年は小学生から一般までの4部門に15チームがエントリー。1チーム8人制のリーグ戦で熱戦が繰り広げられ、観客からは大きな声援が沸き起こっていました。

2月3日

地形を知って、災害から命を守る

イベント



「地域ぐるみ防災セミナー」が江刺総合支所で行われ、市民など約200人が参加しました。講演では、東北学院大学の水本匡起講師が、地形と自然災害の関わりについて、市内全域の3D画像を使って解説。参加者は、自然災害のメカニズムや地元の地形環境などを学び、防災意識を高めました。

2月4日

相談窓口設置で被災者支援

市政



市は、災害が発生した場合の被災者支援を円滑に行うため、県行政書士会（田村格会長）と「災害時における支援協力に関する協定」を締結しました。市の要請に基づき、同会は相談窓口を設置し、行政手続きなどの相談に応じます。田村会長は「もしものときにはいち早く市民のために活動したい」と述べました。

2月9日

「傾聴」を知り、生活に生かす

イベント



傾聴の基礎や効用を学ぶ市民公開講座（傾聴ボランティアおうしゅう主催）が開かれました。講演でNPO法人日本傾聴ボランティア協会の鈴木絹英理事長は「傾聴は良好な人間関係を築く基本。一生懸命聞き、相手に興味や関心を向けること」と説明。聴講者は、傾聴の活用方法などの話に耳を傾けました。

このイベントは市民提案型協働支援事業補助金を活用して開催されています

2月24日

シーズン終盤！スピードと技術を競う

イベント



今年で3回目となる市スキー大会（市体育協会など主催）が国見平スキー場で開催されました。旗門を交互に通過しながら滑り、ゴールまでのタイムを競う種目「大回転」に、小学1年生から80代まで計42人がエントリー。参加者は、強い日差しが差すゲレンデで、日頃の練習成果を競い合いました。

2月25日

宮地キヨさん100歳（前沢字山下）

冒険



一戸町に生まれ、23歳で故郷・勉さんと結婚。1男3女をもうけ、孫6人、ひ孫11人に恵まれています。小学校の教員を経て、神職の傍ら習字塾を経営。民生委員や人権擁護委員を長く務め、地域のため尽力されました。家族や施設の職員から祝福を受け「とても幸せです。皆さんありがとう」とにこやかに話されました。

2月27日～3月3日

心とむくくり雛

イベント



城下町水沢に春を告げる「くくり雛まつり」がメイプルを主会場に行われました。くくり雛とは押し絵の技法で作られた雛人形のこと。メイプルでは水沢くくり雛保存会（佐々木恵子会長）の会員らが手掛けた約500体を展示。鹿踊のくくり雛も登場し、色鮮やかな衣装をまとった人形が訪れた人の目を楽しませました。